

第2回・平井川流域連絡会 会議録

開催日時 平成12年10月28日(土)
開催場所 現場視察 多西橋～日の出橋
会 議 日の出町下平井会館

1 . 現 地 視 察

多西橋～平高橋下流	車中視察
平高橋下流～代田橋	徒歩視察
代田橋～尾崎橋	車中視察
尾崎橋～日の出橋	徒歩視察

2 . 会 議

・開 会

・新委員の紹介

あきる野市都市整備部建設課長

(前)河野一智

(新)堀江 匠

西多摩建設事務所工事第二課長

(前)鹿又和夫

(新)谷村秀樹

・座長の選出

新座長に谷村秀樹委員を選出

・座長挨拶

・現地視察後の意見交換

市民委員：川の中に生えているニセアカシア等の木は洪水時に橋に引っ掛かる恐れがあるので、切った方が良いのではないかと。

行政委員：実際にそのような事で、溢水した事例がある。

今年、東海地方で1日500ミリもの雨が降った。凄い量だった。

市民委員：新開橋の曲線部分にあるニセアカシアは、切った方が良いと思いが未改修区間を含めて、総合的に見て検討して欲しい。

座長：ニセアカシアに限らずブロック等も含め、障害物を調査したい。

市民委員：増水時の流木や板切れが、河道内に放置したままになっている。

河岸清掃は市民が行っているが、川の中のゴミを取る方法を考えて

ほしい。

市民委員：崖地からの湧水の処理に配慮してもらいたい。水路状にしているのは、良くない。小川のような自然な形にしたらどうか。
現場を歩いて子供たちが釣りをしている箇所が1箇所しか無かった。
子供たちが水辺に近づきやすい川をつくるべきである。

市民委員：川の水はきれいになったという印象である。
昭和20年～30年頃は、川が生活に密着していた。

市民委員：親としては、水質が悪く平井川で子供を遊ばせたくない。水に入るとすぐに目が赤くなる。巾着田の方が遊ばせやすい。
湧水箇所の工夫をしてほしい。
夏、川辺に日陰がない。

市民委員：工事のやり方が変わってきているのは認める。
尾崎橋付近の景観がよい。工事をやると聞いてがっかりした。
計画を教えてほしい。

市民委員：・平井川の特徴は何だろう・と思いながら歩いたが、心に入ってこなかった。10何年間の工事のせいだ。調整池をたくさん造って、川をいじらないでほしい。

行政委員：調整池は、以前、田や畑であった土地を開発すると雨水の河川への流出が多くなるため、開発者に造ってもらっている。
今年の東海地方での豪雨の例もあるので、最低1時間50ミリの降雨に対応する護岸の整備は必要である。

市民委員：川から見た街も良かった。
河床に土砂が溜まっているので除去はできないか。

市民委員：工事の方法が年々進歩しているので、護岸がつぎはぎだらけである。
河原のある川にしてほしい。

市民委員：つぎはぎだらけの護岸は、子供の教育上良い。

市民委員：施工前の川の方が良い。ヨーロッパでは、自然に戻して洪水も減っている。

市民委員：改修工事にお金をかけているが、その後の維持管理にもお金をかけてもらいたい。

座長：まとめ

- ・川の障害物の撤去の検討 譲 薫
- ・川へ近づけるような工夫 裴を進めていきたい。
- ・総合的な治水対策の実施 譲 蛙

・平井川の整備予定について

事務局より、今後の平井川の整備予定について説明。

- ・連絡会の今後の進め方について

事務局より、今後の連絡会の進め方について、各委員にアンケート調査を依頼。

12月末までに事務局宛送って頂きたい。

- ・次回の予定

事務局より、次回は来年の5月頃実施する旨説明。

- ・閉会